

2023年(令和5年)

第56号

(8月15日)

平安だより

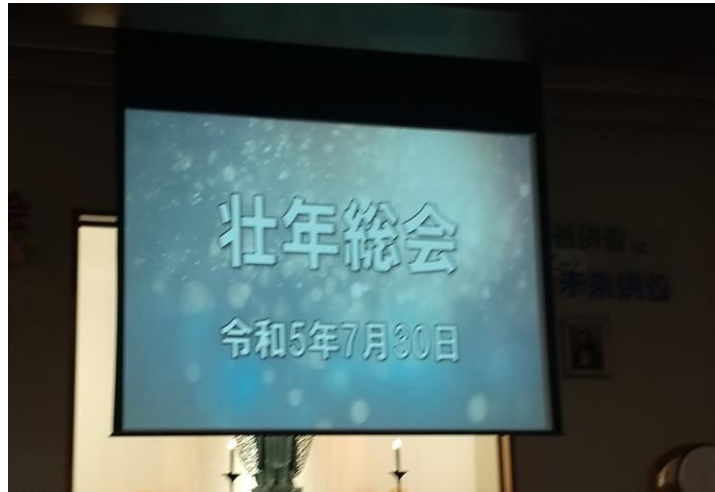
HEIAN letter

発行所：立正佼成会 京都教会  
 発行責任者：渉外部長 澤村悦玄  
 編集委員長：渉外広報 植田恭司  
 〒605-0041 京都市東山区三条東町 230  
 TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

## 壮年総会 ～一隅（せかい）を照らす 私はどこに？～

京都教会壮年部は7月30日、本部からのインターネット配信による「壮年総会」を教会法座席と宇治法座所で視聴し、25名の壮年部員が参加すると共に、自宅から参加する部員もいました。

今年のテーマは「一隅（せかい）を照らす 私はどこに？」と題し、一隅を照らす「位置」について言及。それは「即是道場」として解説がありました。「一隅を照らす」とは人を支える一滴の潤滑油であり、自分が照らすだけでなく、逆の立場になっても一隅を照らす運動になっていると、その運動のかみしめがありました。



配信後、宇治法座所とオンラインで結び、確認法座を行いました。

参加者から出てきた感想は、

- みんな各自が答えを持っている。
- 隅っこ（見えない所）を照らせる自分になる。
- 大きい世界観を持てる自分でありたい。

- 心の動きを見つめる
- 壮年部員さんの心の奥深いところまでを見られる自分でありたい
- 隣の人同士の関係が一隅を照らし、世界を平和に導ける
- 人それぞれの一隅の照らし方があると思った
- 自分は明るく優しくなりたい
- 一人ひとりが自分のまわりを照らすことが大切だと思う
- 個人の悩みや迷いはサンガで支え合うことが大切
- 法華経観に基づいた人材を育成していくことが大切
- 日常の足元で起こることに対して取り組んでいくことが今後につながると感じた
- 自分が民生委員として小さな灯りになっていきたい
- 職場や地域社会で目の前の人を思えることが大事だと感じた。

と、さまざまなものがありました。

中村教会長は結びにおいて、「一隅は片隅ではなく世界とつながっています。光祥さまは法華経を「語る」のではなく「生きる」を実践されています。今日のダーナ総会も Think global, Act local（世界視野で考え、足元から実践する）でした。カウンセリングとアプローチは似ていますが、相手の仏性や可能性そして悟る力を見つけ信じるという深いものです。光祥さまは大変多忙な中で、今回のダーナ総会に取り組みされています。感情は行動のエネルギーとのお話がありました。心にためない、そのためにはサンガが必要です。壮年サンガの存在価値はここにあります」とし、壮年部の今後の活躍に期待を寄せました。

## 祇園祭山鉾巡行曳き手ボランティア ～華やかな花傘巡行に奉仕～

7月24日、京都教会青年部と新宗連青年部21名は祇園祭後祭のボランティアで花傘巡行の曳き手として都大路を練り歩きました。コロナ禍で中止されていた花傘巡行が4年ぶりに行われ、今までは山鉾の曳き手でしたが今年初めての担当になりました。子ども神輿（みこし）や花街の花傘などが行列し、約千人が参加。芸妓さん・舞妓さんは5つの曳き車に乗り、八坂神社へと向かいました。

初めてボランティアに参加した青年は、「四条通りの真ん中を観光客が見ている中、歩くということに少し緊張しましたが、終わってみて、とりあえず暑かった。けど、やってみて楽しかった！」と笑顔の感想がありました。



令和5年、私たちは「日々感謝 にこにこ元気に出会いたい ありのままの私から」を実践して参ります。

京都教会のホームページもご覧下さい。 <https://rkk-kyoto.jp/>

## 青年部大集合！ ～約 70 名がレクリエーションで交流～

青年部は 8 月 6 日に「青年部大集合！」と称し、幼児・少年部から男女部まで約 70 名が集まり、教会の体育室を主会場にレクリエーションをして一日中楽しみました。

約 3 年間、コロナ禍で集合することが出来なかったのですが、徐々に活動再開に動いています。

はじめに青年部長は 8 月 6 日がどういう日であるかを子供たちに問いかけ、みんなからは「広島に原爆が落とされた日」と答えると、全員で黙とうを行いました。



午前中は幼児・少年部を対象に体育室で思い思いのボール遊びや、手遊び・歌遊びから始まり、割り箸紙コップを使って、アルミホイルのボール発射台を作ってみんなで輪の中に入れよう大会をしたり、グループ別の金魚すくい大会をして楽しみました。すぐに破れちゃうポイに格闘しつつも、7 匹ゲットの少年部員が最高記録でした。

その後、大人も子供もスーパーマリオゲームで大はしゃぎしました。お昼ご飯は婦人部員さんが手作りして



くれた色々なご飯を美味しく頂きました。

午後からは男女部も合流し、本気で楽しもうの時間。バトミントンやバスケットボールをして汗を流しました。その横では、久しぶりのバトン部員による子供たちへのレクチャーを行ったり、元鼓笛メンバーの楽器チェックから少し鳴らしてみたりしてみました。朝から夕方までの一日中、子供から大人までそれぞれが楽しむ時間になりました。

青年部長は「開祖さまの青年への願いのこもった体育室。たくさんの青年部員でもっと活用出来るようになったらいいなあ」と感想を述べていました。

## オンライン平和学習会 2023 ～近畿 5 教会が参加し平和の絵本を読み語り～

少年部が「オンライン平和学習会 2023」を 8 月 6 日～14 日まで実施し、のべ 438 名の参加がありました。

毎晩 20 時から Zoom を使用し、少年部員による平和の絵本の読み語りを行いました。今年は、京都教会以外にも福知山・大阪・奈良・泉州の各教会も参加し、司会や画面共有など事前にリハーサルも行いながら臨

むことが出来ました。

参加した少年部員からは「頑張って読めたー！」「緊張したけどみんなに聞いて貰えて良かった」「色々な本を読んだり聞いたりして平和が大切なんやなーと思った」と感想があり、保護者からも「戦争について、平和について、考える貴重な機会になりました」との声がありました。